

北海道大学医学部 保健学科 合格 尾留川みのりさん(2類みのり寮生)

皆さんの参考になる文章を書ける自信はありませんが、この機会を頂いたので私なりに取り組んできたことを中心に、主に4つのことについてお伝えしたいと思います。

【志望校のこと】

私は入学当初、勉強をする習慣や大学へ行く意識が全くありませんでした。「国公立って何?」と本気で思っていました。ただ、看護を学びたいとは考えていました。そこで先生から背中を押してもらい、程遠いとわかっていましたが、わからないなりに憧れのある北海道大学を第一志望にしました。看護を学べる大学は本当に沢山ありますが、この憧れの気持ちは大きくなるばかりで、3年間志望校が変わることはありませんでした。ですので、もし志望校が決まらなくて悩んでいる人がいたら、まずは難易度を気にせず、具体的でなくても憧れのあるところに設定するのもいいと思います。勉強していくうちに目標が定まってくると思います。

【苦手科目のこと】

私は化学が苦手でした。しかし共通テストと二次試験の両方で専門化学が必須だったため、化学を諦めるという手段は私にはありませんでした。秋頃になっても模試で2~3割しかとれませんでした。そこで私は学校で配られる問題集よりも易しい問題集(旺文社の基礎問題精講)を買って解きました。難しすぎないので抵抗無く取り組めるし、一冊解ききれたという自信も得られ、基礎も固まるので、苦手意識が消えていきました。この方法で私は二次試験まで化学を頑張りきることができ、共通テストの点数もぐんと伸びました。

【受験勉強で工夫したこと】

私が受験勉強で工夫したことは、計画を立てることです。とは言っても私は勉強をする習慣がなかったため、これが出来るようになるには結構時間がかかりました。手帳を活用して計画を立て、習慣化(PDCA)することで、モチベーションに左右されなくなるし、自分だけの成長を感じられるので本当にやって良かったと思っています。私が部活動を引退まで続けることができたのも、この計画で時間を有効に使えるようになったからだと思っています。計画崩れを起こさない為にも、自分なりの段階を経て習慣にしていこうと意識していました。

【最後に、受験を終えて感じたこと】

結局は本番が全てなので、模試などでいくら伸び悩んでも一喜一憂せずに、なんで出来たのか、または出来なかったのかを分析して、目の前の出来ない問題を出来るようにしていくことを徹底しました。上の文章は一部ですが、それでも遠回りに感じる人も多いと思います。でも、私なりに考え、先生方から沢山のアドバイスや言葉をもらって行動に移してきたことなので私には合っていたんだと思います。合う方法は人それぞれ違うので、沢山考えて、実際に行動してみてください。自信に繋がります!また、こんな私でも、先生方や家族、クラスや部活、寮の仲間に沢山助けをもらい、お陰で頑張れるようになりました。感謝の気持ちをもって最後までやりきることが大切だと思います。皆さんは沢山の可能性をもっていると思います。応援しています!